

参考資料-4 実地調査結果

平成 17 年度に、廃棄物処理施設における石綿含有製品の使用実態を、表 4-1 に基づき（社）全国都市清掃会議が調査した。調査は廃棄物処理施設の中で施設数が多く、かつ石綿含有製品の使用が多いと考えられる焼却施設、粗大ごみ処理施設、及びし尿処理施設の 3 施設について、処理方式、処理規模、及び竣工年度を考慮の上、全 20 パターンに分類し、そのパターン毎に施設を選定した。設定パターンの中には、施設竣工年度によっては、石綿含有製品が使用されていないことの確認を行うために設定したものも含まれる。

各施設におけるサンプリングは、石綿の特性を踏まえて、含有製品の使用が予想される箇所について行った。

表 4-1 実地調査施設選定表

No.	施設種類	平成14年度 施設数 1	平成14年度 施設数 2	処理方式	処理規模 (t/日、kl/日)	年度			試料数	測定項目
						~1975	1975~1989	1989~		
1	焼却施設	1490	622	水噴射炉等	~50				…計10 …計9 …計4 …計5	煙突保温材、煙道保温材、吸音材、パッキン類(予備品より) 煙突保温材、煙道保温材、ボイラ・蒸気配管保温材吸音材、パッキン類(予備品より) 煙突保温材、煙道保温材、ボイラ・蒸気配管保温材吸音材、パッキン類(予備品より)
			662	(ボイラ)	50~300					
			206	ボイラ	300~					
	調査施設数 / 試料小計						8		48	
2	粗大ごみ処理施設	696	436	可燃+不燃					各1 …各2	吸音材、パッキン類(予備品より)、蒸気系統あれば保温材 吸音材、パッキン類(予備品より)、蒸気系統あれば保温材
			(内50が圧縮)	210	可燃					
	施設数 / 試料小計						6		8	
3	し尿処理施設	1111	801		~100				各2	吸音材、パッキン類(予備品より)、汚泥焼却・蒸気系統あれば保温材 吸音材、パッキン類(予備品より)、汚泥焼却・蒸気系統あれば保温材
			310		100~					
	調査施設数 / 試料小計						6		12	
4	資源化等を行う施設	893								
5	高速堆肥化施設	45								
6	ごみ燃料化施設	38								
7	保管施設	852								
8	その他	46								
9	延べ調査施設数 / 試料総数						20(23)	3	68	

1 平成14年度施設数は、環境省ホームページデータから作成

2 処理規模(施設規模)別の数量で、水噴射、ボイラの種別は考慮していない

3 (23)は実調査施設数を示す

4 網掛けの項目は吸音材、保温材等に石綿が含有していたことを示す

全 68 検体の分析結果のうち、及びのケースについて、吸音材、保温材等に石綿が検出された。なお、のケースで石綿が検出された施設の竣工は 1976 年であり、年代的にはに近いものである。石綿含有のパッキン類は、処理方式、処理規模、及び竣工年度に関係なく、高温配管部を中心に用いられていた。

焼却施設では、竣工年度が古いものに機械室吸音材に石綿含有製品が認められたが、近年の施設には使用されていない。また、蒸気配管保温材等も同様の結果である。しかし、継手、パッキン類については継続した使用が認められた。

粗大ごみ処理施設及びし尿処理施設では、石綿含有製品の使用は少ないが、建築物のスレート、工作物のパッキン類に使用が認められた。

今回の実地調査から、吸音材、保温材等においては、「参考資料-3 自治体へのアンケート集計結果」の結果と同様に、竣工年度が古い施設では、工作物への石綿含有製品の使用が認められ、解体時等には適切な飛散防止対策が必要であることがわかった。

表 4-2 実地調査結果概要

施設種類	施設番号	竣工年	試料採取部位	採取物	石綿含有	施設番号	竣工年	試料採取部位	採取物	石綿含有	施設番号	竣工年	試料採取部位	採取物	石綿含有	
焼却	-1	1964	蒸気配管	パッキン	有	-1	1982	空気予熱器	保温材	無		1992	機械室壁	吸音材	無	
			機械室壁	吸音材	無			煙道	保温材	無			排ガス減温塔	保温材	無	
			機械室壁	ボード	有			誘引通風機室	吸音材	無			ダストコンベア	保温材	無	
			炉体	保温材	無			排気ガス管	パッキン	有			煙道点検口	パッキン	有	
	-2	1965	煙道	保温材	無	-2	1983	煙道	保温材	無						
			集じん器	保温材	無			煙道点検口	パッキン	無						
			排気ガス管	パッキン	有			集じん器	保温材	無						
			煙道	保温材	無			機械室壁	吸音材	無						
	-3	1970	集じん器	保温材	有			温水配管	保温材	無						
			灰クレーンブレイキ	パット	有											
							1980	煙道	保温材	無		1991	蒸気配管	保温材	無	
								機械室壁	吸音材	無			煙道	保温材	無	
								煙突	保温材	無			蒸気配管	パッキン	無	
								蒸気配管	パッキン	有			機械室壁	吸音材	無	
								蒸気配管	保温材	無						
		1974			蒸気配管 - 1	保温材	無	1976	ボイラ	保温材	有		2001	ボイラ配管	保温材	無
					蒸気配管 - 2	保温材	無		煙道	伸縮継手	有			ボイラ	保温材	無
					煙突	保温材	無		蒸気配管	保温材	有			煙道	パッキン	有
					蒸気配管	パッキン	有		蒸気配管	パッキン	有			煙突	保温材	無
					誘引通風機	保温材	無		煙突	保温材	無			煙道	保温材	無
粗大		1973	集じん器ダクト	保温材	無		1988	給水配管	保温材	無		1995	蒸気配管	保温材	無	
													蒸気配管	パッキン	有	
		1983	機械室	スレート	有		1976	温水配管	保温材	無		1992	機械室壁	吸音材	無	
し尿		1969	フロー室	吸音材	無		1980	ボイラ配管	保温材	無		1992	煙道	パッキン	有	
			排気管	パッキン	有			機械室壁	吸音材	無			焼却炉体	保温材	無	
	1972	機械室	スレート	有		1977	煙道点検口	パッキン	有		1995	煙道	保温材	無		
ボイラ	保温材	無	機械室壁	吸音材			無	蒸気配管	パッキン			無				